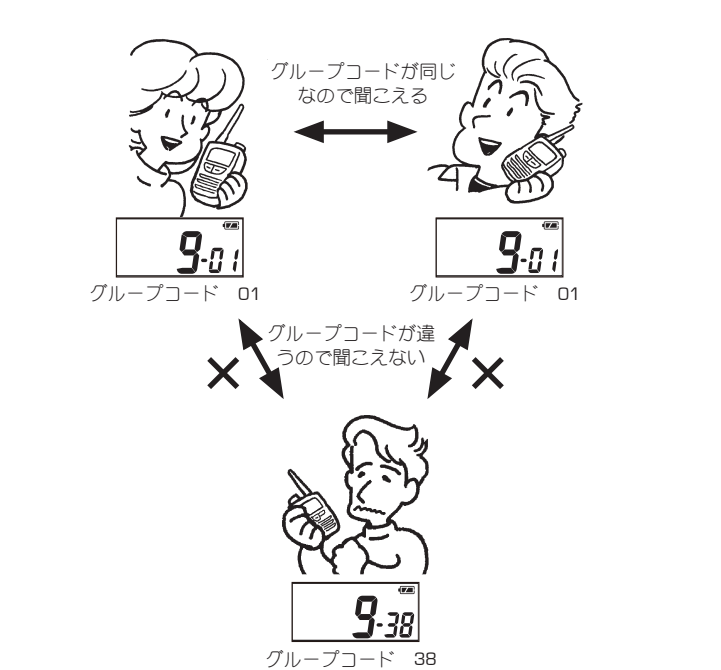


グループモード

「同じチャンネルで、他のグループの通話が聞こえてわずらわしい」そんな時に、あらかじめ同じグループコードに設定しておくと仲間同士の音声だけが聞こえます。



設定のしかた

運用する前に仲間同士で同じグループコードに設定します。初期値は“01”に設定してあります。

① [MODE/ **On**] を押してグループモードにします。
現在設定しているグループコードが表示されます。

② [MODE/ **On**] を押しながら [**△**] を押します。
グループコードが点滅します。

③ [**△**] または [**▽**] を押してグループコードを選びます。
GP-01 ～ GP-47 (47 通り) から選択します。

④ [通話 (PTT)] を押します。
設定が終了します。

補足 グループコード (47 種類) が不足した時など、グループコードに替えて、108 種類の DCS コード (d017 ～ d754) を使用することができます。

注意 グループコードが 38 通りの旧機種と通話する場合は、GP-1 ～ GP-38 以内で設定してください。それ以外のグループコードを使用すると通話できなくなります。

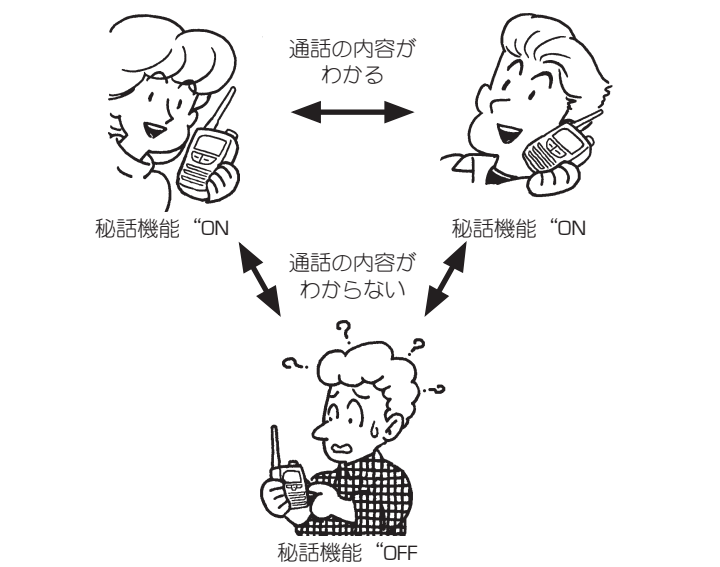
通話のしかた

“基本的な通話のしかた”と同様に行います。

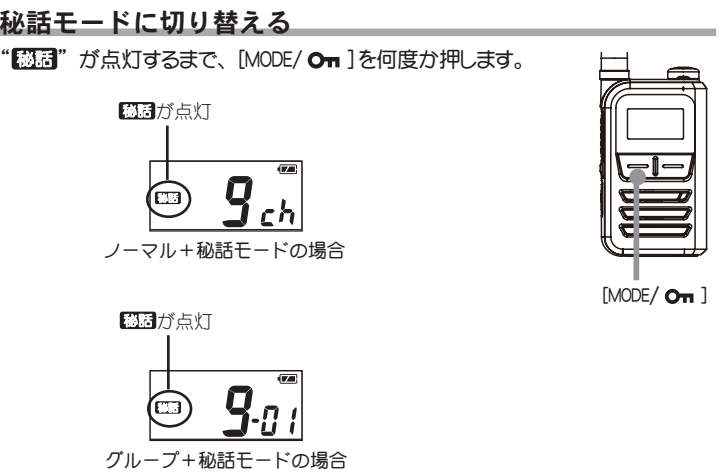
補足 他人の通話が聞こえる場合は、グループコードを変更してください。

秘話モード

秘話モードに設定していない人は、通話内容を聞き取れなくなります。秘話モードは、ノーマルモード、グループモードのどちらでも使用することができず。



- 注意**
- 仲間同士以外でも、同じチャンネルで秘話機能を動作させていれば、通話内容を聞かれる場合がありますので、重要な内容の交信は控えるようにしてください。
 - 秘話機能付トランシーバーでも、機種が違くと、交信できない場合があります。
 - FTH-214/-314/-314L 以外のトランシーバーと通話をすると、音色が異なる場合があります。



通話のしかた

“基本的な通話のしかた”と同様に行います。

セットメニューで行う機能

セットメニューの一覧表				
表示	項 目	設定値※ (太字：初期値)	参照	
Sc-xx	スキャン機能 “ALL” に設定すると、自動でチャンネルを切り替えながら信号を探します。信号を受信するとスキャンが一時的に停止し、信号がなくなると、約 10 秒後に再びスキャンを開始します。	OFF/ALL	A	
bP-xx	ビープ音の ON/OFF キーをスイッチを押したときに、確認音として電子音が鳴ります。ビープ音が耳障りなときは OFF に設定してください。	ON/OFF	—	
tb-xx	送信ビープ音の ON/OFF “ON” に設定すると、[通話 (PTT)] を押して送信を始めた際に電子音が鳴り、送信状態になったことを音で確認することができます。また、“ON” に設定することで「tt」の項目が追加されます。	OFF/ON	—	
tt-xx	送信ビープ音の音量調整 df は音量と「tb」のビープ音を連動で音量ツマミにて調整します。1 ～ 15 に設定すると音量ツマミに関係なく設定された音量でビープ音が鳴ります。数字が大きくなるほど音量が大きくなります。	df/1 ～ 15	—	
LP-xx	照明ランプの設定 キーを押したとき 2 秒間ディスプレイの照明が点灯します。“OFF” にすると照明は常時消灯します。	2/OFF	—	
AP-xx	オートパワーセーブの設定 “ON” に設定するとディスプレイに On が点灯し、2 時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源を OFF にします。1 分前に「bP-xx」や警告音が鳴り、電源が切れます。	OFF/ON	—	
EG-xx	外部マイク感度の設定 外部マイクの感度を調整します。数字が大きくなるほど感度は上がります。“AU” は音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。M+66F4B 使用時は “1” に設定してください。	1/2/3/AU	B	
IG-xx	内部マイク感度の設定 内部マイクの感度を調整します。数字が大きくなるほど感度は上がります。“AU” は音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。	1/2/3/AU	B	
cP-xx	コンパンド機能 “ON” に設定すると、相手が話しているときに聞こえる「サー」というノイズを軽減し、相手の声を聞き取りやすくなります。 補足 相手のトランシーバーも、コンパンド機能を ON に設定してください。	OFF/ON	—	
IP-xx	送信禁止機能 “ON” に設定すると、[通話 (PTT)] を押しても「ブーー・・・」と警告音が鳴り、ディスプレイに Er と表示されて送信できません。受信専用で使用するときを設定します。	OFF/ON	—	
Ph-xx	PTT ホールド機能 [通話 (PTT)] を押し続けている間送信し、放す待ち受けの状態になります。 “ON” に設定すると [通話 (PTT)] を一度押すと連続送信状態 (最大 3 分間) となり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付き PTT スイッチとして動作します (外部マイクの [通話 (PTT)] では、この機能は動作しません)。 補足 送信が 2 分 30 秒経過するとディスプレイにカウントダウンを開始して、10 秒前に「ビビビ」と予告音が鳴り、3 分経過すると待ち受けに戻り約 2 秒間「ブーブーブー」と警告音が鳴り送信できません。送信したい場合は、警告音が鳴り終わってから [通話 (PTT)] を押してください。 [MODE/ On] を押しながら [通話 (PTT)] を押すと、自動送信復帰機能が動作します。基本動作は補足文記載内容と同様ですが、連続送信が 3 分経過すると一旦待ち受け状態になり、そのチャンネルで他に使用者がいなければ、約 2 秒後に自動で送信状態に戻ります。この動作を自動で繰り返します。自動送信復帰機能が動作しているときには、通話アイコンが点滅しています。	OFF/ON	C	
hE-xx	音質切替機能 高域をカットした音声のみを強調した音質で受信します。相手がバックグラウンドの多い場所などで運用しているときに効果を発揮します。“1” に設定すると、高域が効いたメリハリのある音質で受信します。	1/2	—	
Sa-xx	スケルチレベルの調整 信号が入感しているときに出る、耳障りなノイズ (「ザーン」音) を消すことができます。数字が大きいくほどレベルが高くなります。 補足 スケルチレベルを上げすぎるとノイズは消えやすくなりますが、弱い電波が入感しなくなることがありますので、必要に応じて調整してください。	1 ～ 4	—	
SP-xx	イヤホン断線チェック 接続しているオプションのスピーカーマイクホンやタイピンマイクのスピーカー (またはイヤホン) が断線している場合、本機の電源を入れたときに Er とディスプレイに表示し警告します。	OFF/ON	—	
bS-xx	スーパースーブ機能の設定 “ON” に設定すると、待ち受け状態で約 30 秒間キー操作がないと電池パックの消耗を防ぐ機能が動作します。信号を受信時またはキー操作を行うとセーブ機能は解除されます。 補足 “ON” に設定すると、受信中強切れを起こすことがあります。	OFF/ON	表面	
bt-xx	バッテリーインジケータの設定 初期値は市販のアルカリ乾電池を使用する “AL” に設定されています。オプションの FNB-135 を使用する場合は “h+” に設定します。	AL/h+	表面	
hd-xx	キーロック・ディスプレイ非表示設定 “ON” に設定すると、ロックキーを押したとき、キーロックと共にディスプレイを非表示にすることができます。	OFF/ON	D	
cL-xx	クローン機能 送り側に設定してある内容をワイヤレスで複数台一斉にコピーすることができず。	OFF/ON	E	

※：設定値ディスプレイ表示 “OFF” → “oF”, “ON” → “on”, “ALL” → “AL”

セットメニューの操作

各セットメニューの設定を変更するときは次の手順で行います。

① [**On** /CH] を長押しで電源を切ります。

② [MODE/ **On**] を押しながら [**On** /CH] を長押しで、電源を入れます。
セットメニューの “Sc-xx” が表示されます。

③ [MODE/ **On**] を押すたびに、セットメニューの項目が切り替わります。
設定したいメニューを選択します。
例：“bP-xx” を選択
[**On** /CH] を押すたびに、セットメニューの項目が後退します。

④ [**△**] または [**▽**] を押して、点滅している設定値を選択します。

⑤ [通話 (PTT)] を押します。
設定を確定し、セットメニューを終了します。

A：スキャン機能 (Sc- xx) ～受信信号を探す～

自動でチャンネルを切り替えながら信号を探る機能です。信号を受信するとスキャンが一時的に停止し、信号がなくなると、約 10 秒後に再びスキャンを開始します。

スキャン機能を使用する場合は、あらかじめ下記のセットメニュー (Sc) で “AL” を設定します。

oF (初期値) スキャン機能を OFF にします。
AL 全チャンネルをスキャンします。

スキャン機能を使用する

スキャンを開始する

[**On** /CH] を短押し後、[**△**] または [**▽**] を長押しします。
チャンネルをスキャンすることができます。

スキャン方向を変更する

スキャン時に [**△**] または [**▽**] を押します。
スキャン方向を変えることができます。

スキャンを停止する

[MODE/ **On**] または [通話 (PTT)] を押します。

B：マイク感度の設定 (EG- xx /IG- xx) ～外部マイク / 内部マイクの感度を設定する～

外部マイクのマイク感度を設定します。M+66F4B 使用時は “1” に設定してください。

1 外部マイクの感度 - 小
2 (初期値) 外部マイクの感度 - 標準
3 外部マイクの感度 - 大
AU 音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。

内部マイク感度の設定 (IG-xx)

トランシーバー本体に内蔵してあるマイクの感度を設定します。

1 内部マイクの感度 - 小
2 (初期値) 内部マイクの感度 - 標準
3 内部マイクの感度 - 大
AU 音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。

C：PTT ホールド機能 (Ph- xx) ～ [通話 (PTT)] スイッチの動作を設定する～

[通話 (PTT)] スイッチを押したときの動作を設定します。

oF (初期値) [通話 (PTT)] を押し続けている間送信し、放す待ち受けの状態になります。
on [通話 (PTT)] を一度押すと連続送信状態 (最大 3 分間) となり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付き PTT スイッチとして動作します (外部マイクの [通話 (PTT)] では、この機能は動作しません)。
補足 送信が 2 分 30 秒経過するとディスプレイにカウントダウンを開始して、10 秒前に「ビビビ」と予告音が鳴り、3 分経過すると待ち受けに戻り約 2 秒間「ブーブーブー」と警告音が鳴り送信できません。送信したい場合は、警告音が鳴り終わってから [通話 (PTT)] を押してください。
[MODE/ **On**] を押しながら [通話 (PTT)] を押すと、自動送信復帰機能が動作します。基本動作は補足文記載内容と同様ですが、連続送信が 3 分経過すると一旦待ち受け状態になり、そのチャンネルで他に使用者がいなければ、約 2 秒後に自動で送信状態に戻ります。この動作を自動で繰り返します。自動送信復帰機能が動作しているときには、通話アイコンが点滅しています。

D：キーロック・ディスプレイ非表示設定 (hd- xx) ～キーロックと共にディスプレイを非表示にする～

あらかじめセットメニューの “hd-xx” を “ON” に設定します。
[MODE/ **On**] を長押ししたときに、キーロックと共にディスプレイを非表示にすることができます。再度 [MODE/ **On**] を長押しすると解除されます。

① [**On** /CH] を長押しで電源を切ります。

② [MODE/ **On**] を押しながら [**On** /CH] を長押しで、電源を入れます。
セットメニューの “Sc-xx” が表示されます。

③ [MODE/ **On**] を押して、“hd-xx” を選択します。

④ [**△**] または [**▽**] を押して、“ON” に選択します。

⑤ [通話 (PTT)] を押します。
設定を確定し、セットメニューを終了します。

E：クローン機能 (cL-xx) ～同じ設定に複製する～

送り側に設定してある内容をワイヤレスで複数台一斉にコピーすることができます。

コピーできる設定内容は下記のようになります。

- 現在設定しているチャンネル / グループコード / DCS コード
- 現在設定している通話モード (ノーマル / グループ / 秘話)
- セットメニューの設定内容

注意

- 雑音の多い場所でクローン機能を行うと正常にコピーできない場合があります。
- 送り側と受け側を 1 m 以内に近づけた状態で、クローンを行ってください。
- クローン機能は FTH-214 同士のみ使用することができます。

クローン機能を設定する

1 受け側を設定する

セットメニュー (cL-xx) でクローン機能を “ON” に設定します。

oF (初期値) クローン機能を OFF にします。
on クローン機能を ON にします。
ディスプレイに “CcL” が表示されます。

2 送り側を設定する

① 受け側と同様、セットメニュー (cL-xx) でクローン機能を “ON” に設定します。

② [通話 (PTT)] を押します。
データが送出されます。
補足 送り側は正常にコピーされると「ビッ」と音がして、コピーされたチャンネルをディスプレイに表示します。
“CcL” のまま変化しない場合は、再度 [通話 (PTT)] を押すと送り側からデータが送出されます。

③ [**On** /CH] を長押しで電源を切ります。
セットメニューの設定を終了します。受け側も電源を切ります。
補足 電源を OFF にすることで、クローン機能は OFF になりますので、セットメニューで OFF にする必要はありません。

＜＜ 無料修理規定 ＞＞

1. 取扱説明書、本体貼り付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、保証期間内 (お買い上げ日より 1 年間) 無料修理をさせていただきます。

2. 保証期間内に無料修理をご依頼される場合は、お買い上げの販売店へ製品と本保証書をご持参、ご提示の上、お申し付けください。

3. 保証期間内であっても、次の場合には有料となります。

- 本保証書への提示がない場合。
- 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記入がない場合。
- 使用上の誤り、不当な修理・改造、改竄による故障およびそれらに原因により生じた故障、または故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- お買い上げ後の取付場所の移動、輸送・落下等による故障および損傷。
- 火災・地震・風水害・落雷、その他の天災地災・異常電圧などによる故障および損傷。
- 他の製品 (アンテナの不備・電源障害・設置場所など) により正常に動作しない場合。
- 消耗部品 (バッテリーなど) に関するものの交換。

4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理メモ

開発製造：バーテックススタンダード LMR 合同会社
a Motorola Solutions Company

お客様の個人情報保護について

お客様の名前、ご住所・電話番号などの個人情報を第三者に開示、または提供することは一切ありません。
お客様の情報は今後、当社の顧客管理のみに使用させていただきます。

正常に動かないとき ～ファクトリーリセット～

スイッチを押しても反応しないときや、『故障かな? と思うまえに...』の項目に従って点検しても正常に動作しないときは、次の操作を行ってください。

ファクトリーリセットを行うと、登録した内容はすべて消され、工場出荷時の“初期値”に戻ります。

① 一度、[**On** /CH] を長押しで電源を切ります。

② [**△**], [**▽**], [MODE/ **On**] を押しながら [**On** /CH] を長押しで、電源を入れます。
ディスプレイに **Er** が表示されます。

③ [通話 (PTT)] を押します。
工場出荷時の “初期値” に戻ります。

キー操作早見表

スイッチ / キー	動作
[On /CH]	短押し：チャンネル設定 (△ / ▽ 短押し)。 長押し：電源の ON / OFF
[MODE/ On]	短押し：通話モードの切り替え (グループ / DCS、秘話) 長押し：キーロック
△	短押し：フズステップ音量大 長押し：押している間音量大
▽	短押し：フズステップ音量小 長押し：押している間音量小
[MODE/ On] (見ながら) → △	グループ / DCS モードの設定
[MODE/ On] (見ながら) → [On /CH]	セットメニューの操作
▽ (見ながら) → [On /CH]	モニター機能
△ + ▽ + [MODE/ On] (見ながら) → [On /CH]	ファクトリーリセット

故障かな? と思うまえに...

間違った操作をしていませんか?
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ **電源が入らない!**

- 電池は正しく取り付けられていますか? 電池の極性 (+ / -) をご確認ください。
- 電池は消耗していませんか?
- オプションのニッケル水素電池 (FNB-135) は十分に充電してありますか?

◎ **電源を入れたとディスプレイに “Er” と表示する!**

- 接続しているオプションのスピーカーマイクホンやタイピンマイクのスピーカー (イヤホン) が断線している。または、ねじ込み式プラグが確実に締めて付いていない可能性があります。

◎ **送信できない!**

- 通話 (PTT) スイッチを正しく押していますか?
- 相手と同じ通話モード (ノーマルモード / グループモード / 秘話モード) に設定していますか?
- 相手と同じチャンネルに設定していますか?
- 相手と同じグループコード (または DCS コード) に設定していますか?
- 相手との距離が離れすぎていませんか?

◎ **勝手に電源が切れる!**

- セットメニューのオートパワーセーブ機能 (AP) が ON になっていませんか?
- 2 時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源が OFF になります。
- 電池が消耗していませんか?
- オプションのニッケル水素電池 (FNB-135) は十分に充電してありますか?

◎ **グループモードで運用中に他の人の通話が聞こえる!**

- モニター機能になっていませんか? 電源を切り、再度電源を入ると解除されます。
- 他の人が同じグループコードや DCS コードを使用している場合があります。

グループコードまたは、DCS コードを変えてください。

オプション一覧表

品 名	型 番
防浸型スピーカーマイク	M+66F4B *
タイピン型イヤホンマイク	MH+62A4B *
イヤピースマイク	MH+89A4B *
アンテナアダプター	CT-101 *
アンテナバンド (赤色) 12 個入り	S8003159
アンテナバンド (青色) 12 個入り	S8003161
アンテナバンド (黄色) 12 個入り	S8003163
アンテナバンド (緑色) 12 個入り	S8003165
アンテナバンド (緑色) 12 個入り	S8003167
ニッケル水素電池	FNB-135
充電用 AC アダプター	PS000042A11

※：ねじ込み式の防水プラグを使用しているため、確実に締めて付けてご使用ください。
注意 締め込みが不十分な場合、接触不良を起こし通話できないことがあります。また、防水性能を確保することもできません。

カタログ及びその他の最新情報はホームページ <http://www.standard-radio.jp> を参照してください。

定 格

受信用周波数：1ch ～ 9ch 422.2000MHz ～ 422.3000MHz (125kHz ステップ) 01ch ～ 11ch 422.0500MHz ～ 422.1750MHz
電 波 型 式：F3E / F2D
通 信 方 式：単信
送 信 出 力：10mW 以下 (電波法施行規則第 6 条適合)
受 信 感 度：-120dB μV 以下 (@ 12dB SNAD)
低周波出力：60mW 以上 (@ 4 Ω、60mW 時歪率 10% 以下)、電源電圧 1.5V 時
動作温度範囲：-10℃ ～ +50℃
定 格 電 圧：DC 1.2V
動作電圧範囲：DC 1.0V ～ 1.7V
本 体 寸 法：50.0 × 83.0 × 27.1mm (幅 × 高さ × 奥行き：アンテナおよび突起部を含まず)
本 体 重 量：約 90g (ペリトクリップおよび電池を含まず)

RoHS 指令準拠
この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります